

もくじ

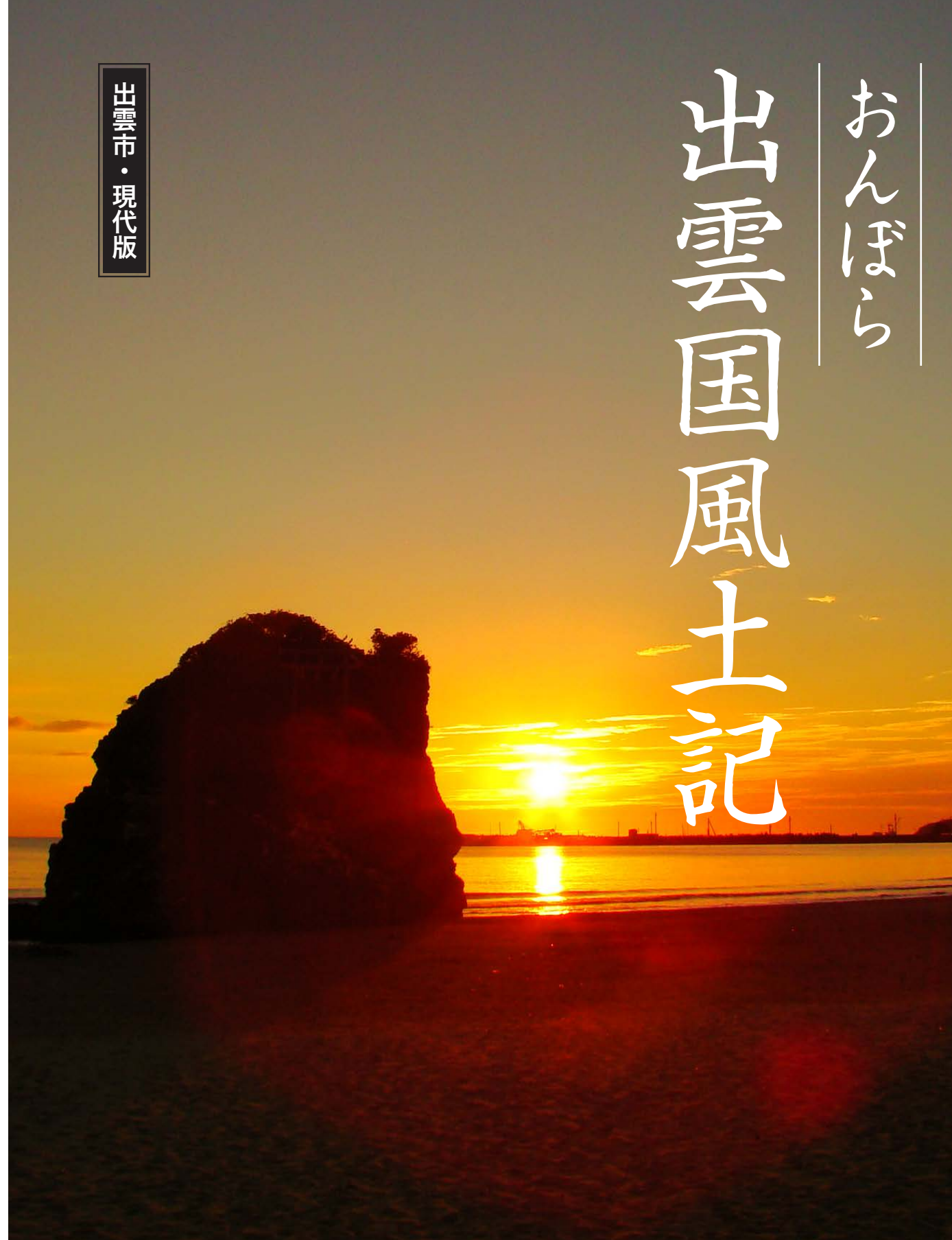
『おんぼら出雲国風土記』の編纂にあたって（出雲市長） ..... 1  
発刊によせて（出雲ブランド化推進市民委員会委員長） ..... 1  
『おんぼら出雲国風土記』とは（荒神谷博物館副館長） ..... 1  
現代版『出雲国風土記』について ..... 2  
出雲国風土記 郡別＝現在 人口調査（平成 26 年 12 月末日現在） ..... 3  
 楯縫郡 ..... 5  
 出雲郡 ..... 13  
 神門郡 ..... 21  
 飯石郡（須佐郷） ..... 31  
 秋鹿郡（伊農郷） ..... 32  
 巻末 ..... 33  
 出雲市に関連する神話と伝承 ..... 35  
 出雲神話の紙芝居「オオクニヌシとスセリヒメ」 ..... 36  
 山野、河川・池、海岸地形に記載される草木等整理表 ..... 41  
 出雲ブランド活動と出雲国風土記が関わったこと ..... 45  
 地域の魅力再発見「フォトボイスボックス」 ..... 47  
 編集後記 ..... 52



出雲市・現代版

おんぼら

# 出雲国風土記



大好き☆出雲!



# 『おんぼら出雲国風土記』の 編纂にあたって

出雲市長 長岡 秀人



出雲の真のブランド化は、「生まれてよかった」「住んでよかった」の思いを市民ひとりが共有できるよう

に、出雲らしい魅力や地域資源を発掘・再認識し、磨き高め、内外に発信していこうとする取組であり、この実現に向けて、「大好き☆出雲！倶楽部」（出雲ブランド化推進市民委員会と出雲ブランド戦略プロジェクトチーム）のみなさんを中心に、積極的に取り組んでいただいていることに、心からお礼を申しあげます。

今年度、活動をスタートし丸5年を迎えることを機に、国内で唯一、完本状態で残っている『出雲国風土記』に今の出雲市を当てはめ、1300年前の出雲市を知り現代と比較することで、「古代から脈々と引き継がれてきた出雲の良さ」と「新たに育まれた出雲の良さ」を確認し「出雲愛」が深まる情報発信に取り組まれたことは、出雲市にとって大変に価値ある取り組みです。

この取組が、市民のみなさんに深く、広く、浸透していくことを願うとともに、新たな出雲の魅力として全国へ発信されていくことを期待しています。

## 現代版

### 『出雲国風土記』について

#### 1. 大好き☆出雲！倶楽部の5年間の活動の集大成として

丸5年の取組をリセットするのは勿体無い、生かす取組をしたい。

『出雲国風土記』編纂1300年を20年後に迎える。  
市民が手軽に読める『出雲国風土記』の作成をしたい。現在の出雲市のエリアでまとめた。1300年前と今を比較してみることで、出雲文化、出雲弁、出雲神話と他にはないもの、風土記の中に出るものを改めて訪ねる機会となり、これが新たな再発見のきっかけになる。

『出雲国風土記』は、他の国の風土記と違い20年もかけて丁寧に作られたもの。出雲の国司（くつかさ）は地元の人だったとのこと。残っているものを活かして伝えて、知っていたらしくことをしたい。知れば知るほどいいところ。楽しみながらつくれば、その思いが伝わるものに仕上がると思う。

●1300年前の出雲市に思いをはせながら、今と比較し、深めながら、現代版風土記として、出雲市を知ってもらいたい。

●国内唯一の完全体で残った『出雲国風土記』を自分たちが知り、現代に甦らせることで、見えていなかった出雲の良さが実感できる。

●地道だけど、出雲の魅力再発見に取り組んできた。この成果を現代版『出雲国風土記』に繋がる。きつと活かせる。

# 発刊によせて

大好き☆出雲！倶楽部  
（出雲ブランド化推進市民委員会）

委員長 平田 明子



「ブランドって、いったい何？」市民委員会発足当時から幾度となく議題にのぼり、確固たる答えの出ないままに、「自然・環境」「人・地域」

「産業・観光」「食・特産品」の4つのグループに分かれ、様々な情報収集、発信活動を5年間にわたりやってきました。

私見ですが、「ブランドとは時を経てぶれないもの」ではないかと思っています。

『出雲国風土記』は約1300年前、総記、郷、寺院、神社、山野、河川・池、海岸地形、通道、郡司など項目を整然と分け、忠実に記述した真に「ぶれないもの」の代表格の書物だと思います。

私たちが取り組んだ5年間の成果の編纂作業は、この『出雲国風土記』をお手本にし、自分たちの尺度で「ぶれないもの」を誠実に検証し、自分たちの言葉で残すことでした。

私たちは学者でも郷土史研究者でもない普通の市民です。

「おんぼら」という雲のような言葉に優しく包まれるがらの編纂作業でした。

このささやかな冊子が「大好きな出雲」の発見への一歩となり、さらに内容が充実し進化していくことを願っています。

#### 2. 着手前の委員会での会話

①そもそも風土記を知らない。

・そもそも論と名前とイメージから固く・特別なもの。高尚なイメージ。

・かなりの情報量となり、分厚い冊子になってしまうのでないか。

・風土記全体がわかったうえで取組みたい、みんな風土記のことを知らない。

・どこまでの覚悟でするかを考えてやらないと無駄になってしまう、どこまでの作業をどれくらいの手間をかけてやるのかを考えてやらないといけない。どこを目指すのが大事。到達点を定めた方がいいのではないか。

②編纂イメージ

・誰に配布するもので作り方が違ってくる、市民に対して示したい。

・出雲は神話がたくさん掲載できることが我慢。子どもも読めるものが良いと思う。

・ポイントポイントで1300年前の風土記と比較できるとおもしろい。

・完成版をめざさず、『出雲国風土記』を切り口として、風土記全体に興味をもってもらう。そして、深めていこうとする動きにつなげる。

・風土記への入口（導入部分）程度のもので良い。教科書をつくるわけではない

#### 3. 編纂にむけて

気持ちだけは固まったものの、何からどう動いているのか、いささか空回り気味の状態のなかで、すぎる思いで、荒神谷博物館 副館長 平野芳英氏に指導・助言をお願いしました。

# 『おんぼら出雲国風土記』とは

荒神谷博物館副館長 平野 芳英



『おんぼら出雲国風土記』、良い命名だと思えます。約1300年前に書かれた『出雲国風土記』は、事

実が忠実に書かれているが故に、おんぼらとして、そう考えることもできます。神社や寺院、山、川などのようすがあと一、二行書かれていれば、今の景観と比較して、もう少し語ることができると、と思うことがあるからです。

おんぼらとして『出雲国風土記』だから、確かな出雲になるように、自分の目と足で明らかにしていく。「百聞は一見にしかず」。その実地踏査の成果が、現代版『出雲国風土記』となって完成した。「大好き出雲！」と堂々と宣言した、新版故郷案内書の誕生です。

現代版『出雲国風土記』は、おんぼらと、とした仕上がりではありません。

「風土記掲載事項のチェック」や「風土記の神社と現在の神社の比較表」などは、とても役に立ちます。この『おんぼら出雲国風土記』を手にして、「よし、私も！」と、「出雲」巡りを思い立つ人が増えると思います。『出雲国風土記』に取り組んだ編纂委員の人たちが、自分の故郷を自分の足で歩き始め、おんぼらと「出雲」を知り始めたように。

7月23日／平野副館長を講師に研修会を開催  
8月29日／編纂委員会を立ち上げ第1回委員会を開催  
動き出しました

月2回のペースで編纂委員会を開催しました。  
時折、平野副館長にもお出かけいただきました。  
現場視察や郡別の編纂作業を行いました。

#### 4. 言い訳ではありませんが、ほんとの 思いを汲んでやってください。

決して十分な編纂にはなっていません。改めて、20年かけて編纂された「重み」を感じました。

今までに、多くの学識者によって研究されてきた『出雲国風土記』ですが、正直、数居が高いというか、難しいイメージを感じていた人が多かったと思います。

でも、違います。『出雲国風土記』は、今でいう市町村を紹介するガイドブックみたいなものと思っただけではないかと思っていました。そんな難しいことなんてひとつも書いてありません。1300年前の出雲の国のありさまが記載されているだけなんです。

この編纂がきっかけとなって、市民目線で、もっともっと『出雲国風土記』を身近に感じてもらって、もっと知ってみたいという動きが広がって深まっていくことを期待します。

1300年前の出雲が今の出雲にすっかり引き継がれていることを知ることは「出雲」への愛着が高まります。そしてそれが「大好き☆出雲！」になります。



郡/郷	風土記編纂当時	現在			郷内の現在の町名
楯縫郡 (等級:下)	人口	人口	世帯数	4郷12里1余部1神戸	
	5,600	20,934	6,729		
佐香郷	人口	人口	世帯数	[平田]小境 [平田]鹿園寺町 [平田]園 [平田]坂浦	
里3	1,200	3,083	997		
楯縫郷	人口	人口	世帯数	[平田]小伊津塩津(海岸沿) [平田]多久 [平田]多久谷 [平田]岡田	
里3	1,200	13,375	4,268	[平田]平田(海) [平田]灘分(海)	
玖潭郷	人口	人口	世帯数	[平田]東郷(一部) [平田]野石谷(一部) [平田]久多美 [平田]東福	
里3	1,200	2,026	642		
沼田郷	人口	人口	世帯数	[平田]本庄 [平田]西郷 [平田]万田 [平田]小津 [平田]釜浦	
里3	1,200	1,737	587		
余戸里	人口	人口	世帯数	[平田]十六島	
里1	400	462	161		
神戸里	人口	人口	世帯数	[平田]上岡田	
里1	400	251	79		
出雲郡 (等級:中)	人口	人口	世帯数	8郷23里0余部1神戸	
	10,000	64,345	21,332		
健部郷	人口	人口	世帯数	[斐川]三絡 [斐川]神庭 [斐川]学頭 宍道町伊志見	
里3	1,200	2,152	667		
宇夜里	人口	人口	世帯数	[斐川]神庭(宇屋谷) 健部郷神庭で計上	
	0	0	0		
漆治郷	人口	人口	世帯数	[斐川]直江 [斐川]上直江 [斐川]原鹿 [斐川]出東 [斐川]上庄原	
里3	1,200	18,536	5,985	[斐川]荘原 [斐川]福富(海) [斐川]美南(海)	
河内郷	人口	人口	世帯数	[斐川]出西 [斐川]阿宮 [出雲]船津 [出雲]上島 [出雲]西谷	
里3	1,200	1,852	553		
出雲郷	人口	人口	世帯数	[斐川]求院 [斐川]出西 [斐川]富村 [斐川]神水	
里3	1,200	4,699	1,438		
杵築郷	人口	人口	世帯数	[大社]大社 [大社]日御碕 [大社]鶴鷺 [大社]荒木 [大社]遙堪	
里3	1,200	15,154	5,322		
杵築郷・伊努郷の間に ある(海)	人口	人口	世帯数	[出雲]里方(海) [出雲]平野(海) [出雲]常松(海) [出雲]江田(海) [出雲]八島(海)	
	0	2,910	929		
伊努郷	人口	人口	世帯数	[出雲]東林木 [出雲]西林木 [出雲]日下 [出雲]矢尾 [出雲]川跡	
里3	1,200	12,122	4,313		
美談郷	人口	人口	世帯数	[平田]美談 [平田]西代 [平田]国富 [斐川]今在家	
里3	1,200	3,270	956		
宇賀郷	人口	人口	世帯数	[平田]口宇賀 [平田]奥宇賀 [平田]別所 [平田]河下 [平田]唐川	
里2	800	1,506	480	[平田]猪目 [平田]国富(美談郷で計上)	
神戸郷	人口	人口	世帯数	[斐川]併川 [斐川]名島 [斐川]鳥井	
里2	800	2,144	689		
神門郡 (等級:中)	人口	人口	世帯数	8郷22里2駅1余部1神戸	
	10,400	85,990	32,621		
朝山郷	人口	人口	世帯数	[出雲]朝山 [出雲]稗原	
里2	800	2,926	852		
日置郷	人口	人口	世帯数	[出雲]上塩治 [出雲]築山新町 [出雲]塩治神前 [出雲]南町 [出雲]医大南	
里3	1,200	4,976	2,015		
塩治郷	人口	人口	世帯数	[出雲]塩治善行 [出雲]今市 [出雲]大津	
里3	1,200	16,355	6,593		

郡/郷	風土記編纂当時	現在			郷内の現在の町名
八野郷	人口	人口	世帯数	[出雲]矢野 [出雲]大塚 [出雲]白枝 [出雲]小山 [出雲]高松	
里3	1,200	14,759	5,871	[出雲]渡橋 [出雲]姫原町 [出雲]姫原	
八野郷から日本海側へ(神門水海)	人口	人口	世帯数	[出雲]松寄下(海) [出雲]浜(海) [出雲]下横(海)	
	0	5,447	1,912		
高岸郷	人口	人口	世帯数	[出雲]塩治 [出雲]天神 [出雲]塩治有原 [出雲]塩治原 [出雲]大塚町四絡	
里3	1,200	10,941	4,695	[出雲]今市塩治郷(今市)で計上	
古志郷	人口	人口	世帯数	[出雲]古志 [出雲]下古志 [出雲]知井宮 [出雲]芦渡 [出雲]神門	
里3	1,200	9,494	3,211	[出雲]西新町	
挾結駅	人口	人口	世帯数		
里1	400	0	0		
滑狭郷	人口	人口	世帯数	湖陵(常楽寺) 湖陵(畑村) 湖陵(二部) 湖陵(三部) 湖陵(大池)	
里2	800	14,291	5,089	湖陵(板津) 湖陵(差海) [出雲]神西 [出雲]長浜(海)	
多伎郷	人口	人口	世帯数	多伎(久村) 多伎(多岐) 多伎(小田) 多伎(口田儀) 多伎(奥田儀)	
里3	1,200	3,703	1,351	多伎(神原)	
多伎駅	人口	人口	世帯数		
里1	400	0	0		
余戸里	人口	人口	世帯数	[出雲]乙立 佐田(八幡原) 佐田(東村) 佐田(毛津) 佐田(一窪田)	
里1	400	2,252	776	佐田(佐津目) 佐田(高津屋) 佐田(上・下橋波) 大田市山口	
神戸里	人口	人口	世帯数	[出雲]所原	
里1	400	846	256		
飯石郡須佐郷	人口	人口	世帯数	佐田(反辺) 佐田(須佐) 佐田(朝原) 佐田(原田) 佐田(大呂)	
里3	1,200	2,106	674	佐田(吉野) 雲南市掛合町穴見・入間	
秋鹿郡伊農郷	人口	人口	世帯数	[平田]野郷 [平田]美野 [平田]地合	
里3	1,200	1,356	424		
総計	人口	人口	世帯数		
	28,400	174,731	61,780		

説明事項

- 現在のエリアと『出雲国風土記』で示されている境界は合致しないため、正確な落とし込みは難しい。
- 『出雲国風土記』の解説では現町名の一部、北部、南部等の記述があるが、現町名で大胆に振り分けを行った。
- 当時、海、一部が海であったと言われていた町についても大胆に整理した。
- 『出雲国風土記』(郡) = 大宝令によって成立した行政区画。それ以前は評。郡は国に属し、サト(郷・里)や神戸、駅が所属した。
- 郡の役人を郡司、その役所を郡家と言う。郡は規模によって大上中下小の5等級に分類された。
- (郷) 郡の下部に組織された50戸を単位とする行政組織。郷の下に里が置かれ、これを郷里制と言う。1郷は3里が基本で2里もあった。
- 人口は1里を約400人で算出。郷50戸の「戸」は今の家屋=1戸の解釈より大きな単位となる。(1里:17戸:23人/戸)
- (神戸) 特定の神に奉仕するよう定められた戸。神戸から出る調、庸、田祖などが神社の造営・調度の作成、神祇官の財源に充てられる。(余戸) 50戸1郷が原則であったが50戸で割りきれない場合の余った戸を余戸と称した。9戸までは別の郷、10戸を超えたら新たに1里を建てるのが認められた。(余戸里)

出雲市の現在の面積(k㎡)								
[1300年前はどれほどの面積のなかで人々は暮らしていたのでしょうか?今の1/2?、それとも1/3?]								
地目	全体	出雲	平田	佐田	多伎	湖陵	大社	斐川
田	78.36	24.25	18.74	6.25	1.75	1.57	2.17	23.63
畑	26.84	8.53	5.48	2.84	0.88	2.25	3.65	3.21
宅地	37.89	17.19	5.69	1.09	1.23	1.84	3.02	7.83
森林	358.31	87.49	77.81	90.3	41.95	12.71	28.39	19.66
その他	122.73	34.91	34.34	9.35	9.36	3.89	4.57	26.31
宍道湖※1	21.03		13.7					7.33
合計	645.16	172.37	155.76	109.83	55.17	22.26	41.8	87.97

(※1) 2つ以上の市町村にまたがる湖の内、出雲市分(平田地域と斐川地域)の面積